

秋田大学 男鹿なまはげ分校 活動報告



平成29年度

目次

分校長あいさつ 秋田大学男鹿なまはげ分校長 茂木 優 … 1

平成29年度活動実績

交流人口の増加 …………… 2

地域教育力の底上げ …………… 4

市民の健康生活をサポート …………… 8

アンケート・感想 …………… 11

コグニサイズ実施結果 …………… 19

分校長あいさつ

県央地域における地域貢献活動の拠点として男鹿市に「男鹿なまはげ分校」を開設して6年目に入りました。

男鹿なまはげ分校は、地域からの要望や課題を的確にくみ取り、地域の振興と発展、本学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動しております。

平成29年度は、男鹿市の交流人口を増やす取り組みとして、首都圏大学の体育系クラブである専修大学と東京農業大学のフェンシング部の合宿を誘致しました。

さらに、中高年を対象とした「ニコニコ体操塾」、児童生徒の医学部訪問、理科実験教室など、秋田大学生とも積極的に交流を深める事業に取り組みました。

今後も、男鹿市の豊かで魅力的な自然・温泉・祭り・食などの観光資源を活用した情報発信強化により誘客増を目指すとともに、男鹿なまはげ分校を通じた本学の学生力も活かし、地域の活性化につながるよう市民の皆様とともに活動してまいります。



秋田大学男鹿なまはげ分校長 茂木 優

活動方針

男鹿市と秋田大学においては平成23年2月17日連携に関する協定を締結しました。それぞれの資源や機能活用を図りながら幅広い分野で相互に協力し地域社会の発展を目指すという主旨で、具体的な連携協力事項として、ジオパーク活動を通じた地域振興と、秋田大学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動を展開してきました。

こうした活動を一層力強く前進させるため、男鹿市役所本庁舎内に地域活性化に向けた活動拠点として『男鹿なまはげ分校』を開設し、地域のニーズをふまえ再構築した『交流人口の増加と、地域教育力の底上げ』を基本コンセプトに、首都圏大学の文化系・体育系クラブの宿泊合宿誘致、学生力を活用した児童生徒の自学自習支援、児童生徒の医学部訪問によるキャリアモチベーションアップ、大学教員講座を織り交ぜた市民の健康づくりをサポートする総合的体操教室等、地域の活性化に寄与する様々な活動を地域の皆様や行政と協働で実践してまいります。

平成29年度活動実績

交流人口の増加

地域活動の中心となる若者層が少ない中、学生が地域で活動することへの期待が大きくなっている。また、男鹿市における発進力と受信力を高めることで「男鹿市の応援団・心の男鹿市民」を増やしたいという首長の強い思いに応えるため、首都圏の大学に働きかけ男鹿市内でのスポーツ合宿を誘致した結果、平成27年度に男鹿市と日本体育大学が体育・スポーツ振興に関する協定を締結した。

今後も合宿誘致を強力に進めるとともに、秋田大学生との連携や、地元高校生や市民との交流も視野に入れた取り組みを目指す。

■首都圏大学宿泊合宿誘致

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

専修大学・東京農業大学フェンシング部夏季合宿

実施日 平成29年8月23日(木)～8月30日(月)7泊8日

会場 男鹿市総合体育館

宿舎 磯乃家旅館

参加人数 42名

大学の夏季休業期間に合わせた専修大学と東京農業大学のフェンシング部による夏季合宿を男鹿市総合体育館で実施した。

合宿初日に男鹿市教育長の歓迎のあいさつがあり、2大学の学生は環境の良い体育館で、気合いの入った練習に取り組んでいた。

首都圏大学の体育系クラブの合宿誘致により、男鹿市の交流人口増大を進め、男鹿市民の意識の高揚、男鹿市の知名度アップ、地域経済の活性化につなげていきたい。



■安全寺里山保全会事業への協力

安全寺里山保全会主催事業

実施日 平成29年6月4日(日), 10月8日(日)

会場 男鹿市安全寺地区

参加者 秋田大学生 計3名

その他一般参加者及び関係者(男鹿市, 地元住民)

田植え約100名, 稲刈り約150名

平成26年度から始まった事業であり, 男鹿市安全寺地区の住民で組織する「安全寺里山保全会」が, 里山の美田オーナーを募り, 田植え・稲刈り交流会を開催している。今年度は3名の学生が, 農作業体験や交流会を通じ, 里山の田んぼを保全していくサポーターとして参加した。「若い力(学生力)が躍動する姿で地域住民に一層の元気をもたらす」「交流人口増加に貢献する」ことを, この事業の目的としている。

6月4日の田植えでは, 雨のため肌寒い中での田植えとなったが, 終始和やかな雰囲気で作業が進められ, 一株一株丁寧に植え付けを行った。「かかしづくり体験」も行われ, 秋の稲刈りを迎えるまで苗の生長をしっかりと見守ってくれる, 独創的なかかしが完成した。

10月8日の稲刈りでは, 秋晴れとなり, 地域の方から稲刈りの手順やコツについて実演混じりの説明を受けた後, 稲刈り鎌を片手に黄金色の田んぼと向き合った。「サツマイモ掘り体験」も行われ, 子どもたちのサポートを行い交流を深めた。

様々な活動を通して, 地域との繋がりを深める貴重な体験となった。



地域教育力の底上げ

秋田大学のもつ豊富な教育研究資源と学生力を提供し、子どもたちが医学・科学などに対する興味・関心を高める取り組みや、子ども自身が具体的な将来像を描くことで学習意欲を高める取り組みを展開した。

■児童生徒の医学部訪問事業 ～男鹿なまはげ学校～

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成29年7月24日(月)

会場 秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター

講師 秋田大学大学院医学系研究科 教授 安藤 秀明

医学部医学科学生6名

内容 採血・超音波検査・縫合・腹腔鏡手術等の模擬体験

医学部医学科学生との質疑応答による交流

参加者 男鹿市内小中学生 計22名

将来の職業として医師を目指す子どもや医療機関での仕事に興味のある子どもが、より具体的な形で夢の実現に努力できるよう、男鹿市教育委員会との共催事業として実施した。

男鹿市内の小中学校から希望者22名が、人体を忠実に再現したシミュレータを用いた心臓マッサージや、腹腔鏡シミュレータを用いた模擬手術体験など先端機器に触れるとともに、指導にあたった医学科学生との交流を深めた。

参加した児童生徒からは「医師になるための道のりはとても長く険しいのに、皆さんはとても楽しそうな顔をしていて羨ましかった」「今まで少し迷いはあったけれど、今日の経験を通してあらためて看護師になりたいと思った」「なぜ採血を行う必要があるのかわかった」などの感想が述べられ、医療に対する興味・関心が寄せられた。



■わくわくドキドキ理科実験教室 ～秋田大学の一日出張実験室～

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成29年7月30日(日)

会場 男鹿市立船川第一小学校体育館

指導 秋田大学大学院理工学研究科 准教授 加藤 純雄

講師 小笠原 正剛

外部講師 6名

指導補助 秋田大学生 21名

参加者 約90名(男鹿市内小学生61名, 保護者)

秋田大学の一日出張実験室として、身の回りにある物を使用した実験や実験観察を通じ、子どもたちの理科への興味を高め、探究心を育てようとして、今年度が4回目の開催となった。

身近にある素材や道具を使って実験をしたり、現象や化学反応を観察・体感したりすることにより、科学への興味・関心を高めてもらうことをねらいとした体験型の出前教室で、「理科離れ」の解消と、次代を担う科学技術人材の育成に寄与することを目的として行われた。

会場には「電気をつくってみよう」「身近なエコを体験しよう」「温度をあやつった実験をしよう」「土のかがく」「お楽しみコーナー」の5つのブースに、花火の色を再現した金属の燃焼実験、液体窒素を使った凍結実験、紙と水を使ったインク色素の分離実験など、全部で17の実験・体験コーナーが用意され、様々な実験を行った。開会後と閉会前には小笠原講師による「色の実験」や科学実験ショーが実施され、実験を通して科学とふれあう良い機会となった。

参加した小学生からは、「風だけで電気ができることが分かった」「何回来てもおもしろいと思った」「液体窒素に水を入れたらどうなるか、実験してみたい」などの感想が寄せられ、不思議や楽しさを体感したことで科学に対する興味・関心が大きくなっている様子だった。指導補助として参加した大学生にとっても、実験を通して多くの子どもたちと交流を図る貴重な機会となった。



■男鹿市中学校での学習講演会

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成29年9月20日(水),21日(木)
会場 男鹿市立男鹿東中学校(9/20),
男鹿市立男鹿北中学校,男鹿市立潟西中学校(9/21)
講師 秋田大学教育文化学部4年次 鈴木 創(男鹿東中学校出身)
演題 夢に向かって努力することの大切さ
参加者 男鹿市立男鹿北中学校 8名
男鹿市立男鹿東中学校 105名
男鹿市立潟西中学校 30名

中学3年生の学習意欲を喚起するとともに、将来の自分の姿を見据えた学校生活を送ることができるよう、男鹿市内の3中学校(男鹿北中学校,男鹿東中学校,潟西中学校)において学習講演会を開催した。夢や目標を実現させるために努力している(比較的年齢が近い)先輩の話を聴くことで学習意欲の喚起と、生徒自身が将来像を見据えた学生生活を送れるようにするためのきっかけを提供することを目指している。

講師は、男鹿東中学校出身の鈴木創さんが務め「夢に向かって努力することの大切さ」と題し講演を行った。なぜ勉強しなくてはいけないのか、目標をもつことの意義、おすすめの勉強法や夢の見つけ方などについて、数年前まで中学生だった立場からわかりやすい言葉で伝え、中学生たちも高校・大学と今後の自分の進路のイメージを膨らませていた。

参加した生徒からは、「夢を見つけるきっかけは、身近なところで見たり経験したことから生まれる事を知り驚いた」「将来の夢を叶えるには、強い意志を持つことだと思った」「最後まで自分の可能性を信じて、これから受験と向き合っていきたい」などの感想が寄せられた。



■ 中学準備教室

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成30年3月16日(金), 19日(月)

会場 男鹿市立男鹿北中学校, 男鹿市立男鹿南中学校 (3/16)
男鹿市立男鹿東中学校, 男鹿市立潟西中学校 (3/19)

講師 秋田大学生7名

参加者 男鹿市立男鹿北中学校 11名
男鹿市立男鹿南中学校 9名
男鹿市立男鹿東中学校 33名
男鹿市立潟西中学校 10名

この春中学校へ進学する男鹿市内の小学校卒業生を対象に、近い将来のモデルとなる大学生からの学びを通して、中学校生活への関心や意欲を高め、中学校生活や授業へスムーズに移行できるようにすることを目的に実施した。

児童達は、自分が入学することになる中学校に登校し、普段とは違った慣れない校舎に緊張の面持ちで開始を待った。準備教室は、「国語と算数の振り返り」、「効果的な家庭学習の仕方について」、「中学生活についての質問タイム」の3部構成で行われ、大学生が学習のサポートのほか、児童からの質問等への回答者を務めた。

参加した児童からは、「家庭学習の仕方などを聞いて実践してみようという意欲がわきました」「最初は中学校生活が不安だったけれど、大学生の皆さんに質問してみたら、不安が楽しみに変わりました」などの感想が寄せられた。また、参加学生からは、「教えること・伝えることの難しさを更に痛感した」「教育についてより一層興味を持つことができた」などの感想があり、学生たちにとっても貴重な経験となった。



市民の健康生活をサポート

秋田大学の良質な教育資源を活かし、超高齢社会を迎えた中においても教養を高めつつ、心身ともに健康で豊かな生活を送るための支援を行った。

■ニコニコ体操塾

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブ 共催事業

男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブが実施している市民向け体操教室に、秋田大学教員による生活に身近なテーマを取り上げた講座や健康寿命の延伸を目指した運動講座を新たに組み入れ、総合的体操塾へとバージョンアップし、男鹿市民の福祉向上と健康増進の促進、地域の社会的交流の促進及び孤立の防止、市民の健康寿命延伸への取り組みとして実施した。

実施日 毎週水・木・金曜日（5月～9月）計15回

会場 男鹿市若美公民館(水曜開催)

男鹿市船川北公民館(木曜開催)

男鹿市船川港公民館(金曜開催)

講師 医学系研究科保健学専攻

理学療法学講座 教授 若狭 正彦(計15回のうち、2回担当)

参加者 クラブ会員を中心に各回10～30名



■元気いっぱい教室

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

高齢期の心身の健康について考え、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続することや、地域の社会的交流の促進、孤立防止を図ることを目的として、男鹿市と協働の教室を開催した。

「心の健康づくり」と「運動機能の維持・向上」の両面からアプローチを図るため、各月の教室のテーマを定め、市健康管理士の運動教室、秋田大学教員によるコグニサイズを実施し、認知症予防への取り組みを行った。



実施日 平成 29 年 6 月 22 日（木）～平成 30 年 3 月 15 日（木）【計 10 回】

会場 男鹿市男鹿中公民館
男鹿市北浦市民センター

講師 医学系研究科

保健学専攻地域生活支援看護学講座

助教 猪股 祥子

保健学専攻作業療法学講座

助教 久米 裕

助教 津軽谷 恵

附属地域包括ケア・介護予防研修センター 助教 佐藤 亜希子

参加者 各回 10～20 名 男鹿市高齢者

■セルフケア講座

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

人口減少が進み今後さらなる高齢化の進行が予測できる男鹿市において、一般介護予防事業の基盤とすることを目的として開催した。また、地域包括ケアシステムの一環である自助・互助について学ぶと機会とした。秋田大学教員によるコグニサイズを実施し、認知症予防に取り組み、男鹿市の健康寿命延伸につなげることを目指し、平成 28 年度の東成瀬村に引き続き開講となった。

参加者たちは、健康チェックや柔軟体操などの後、ステップ台を昇降する有酸素運動と、数を数えながら“3の倍数の場合には手を叩く”といった課題を同時に行うコグニサイズ初級編に取り組んだ。動作を間違えることも脳への刺激に繋がることから、真剣な中にも終始笑い声があふれる講座となりました。90分間のエクササイズはあっという間に終了し、参加者からは「体が軽くなったようだ」という声も聞かれた。

※「コグニサイズ」とは

国立長寿医療研究センターが考案した運動法で、コグニション（認知機能）とエクササイズ（運動）を組み合わせた造語です。体を使う運動課題と頭を働かせる認知課題の2つを同時に行うことで、記憶力の向上、脳内の記憶と学習能力に関係する海馬（かいば）の萎縮を食い止め、改善へと導く可能性をもたらす認知症予防の効果が期待できる運動のことです。

実施日 平成29年6月27日(火)～平成30年2月22日(木)【計18回】

会場 男鹿市保健福祉センター

講師 医学系研究科

保健学専攻地域生活支援看護学講座

教授 中村 順子

助教 猪股 祥子

助教 藤田 智恵

保健学専攻作業療法学講座

助教 久米 裕

助教 津軽谷 恵

附属地域包括ケア・介護予防研修センター

助教 佐藤 亜希子

参加者 各回15～20名 男鹿市高齢者



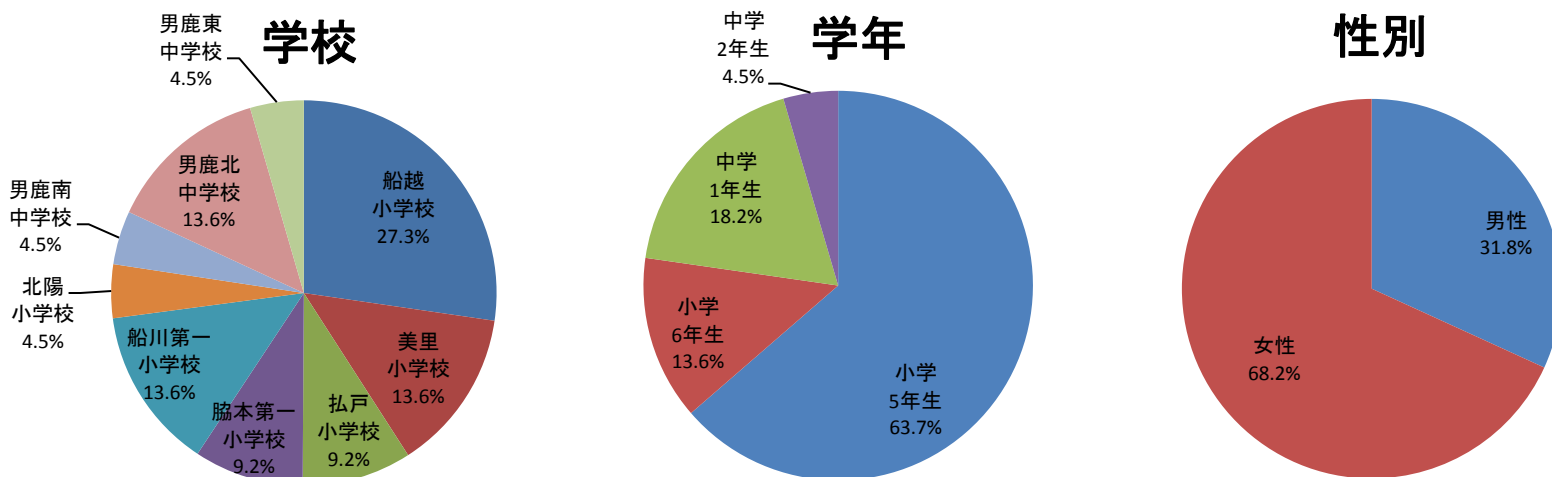
「男鹿市児童生徒の医学部訪問事業」

アンケート集計結果

配布数	回収数	回収率
22	22	100%

開催日時
平成29年7月24日(月)10:00~14:15

1. 学校・学年・性別



	船越小学校	美里小学校	弘戸小学校	協本第一小学校	船川第一小学校	北陽小学校	男鹿南中学校	男鹿北中学校	男鹿東中学校	性別の合計	構成比	
	5年生	5年生	5年生	5年生	5年生	6年生	6年生	1年生	1年生			2年生
男	2名	2名	0名	1名	0名	0名	0名	2名	0名	0名	7名	31.8%
女	4名	1名	2名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	15名	68.2%
学校別	6名	3名	2名	2名	3名	1名	3名	1名	1名	22名	100.0%	
構成比	27.3%	13.6%	9.2%	9.2%	13.6%	4.5%	13.6%	4.5%	4.5%	100.0%		
	小学5年生			小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計		
学年別	14名			3名		4名		1名		22名		
構成比	63.7%			13.6%		18.2%		4.5%		100.0%		

2. 「シミュレーション教育センター見学」を通して感じたことや考えたことを書いてください。（※原文のとおり）

しゅじゅつが特に面白かったです。少し気持ち悪かったけど、『できた!』という達成感がよかったです。
テレビで見ていた手術はかんたんそうだったけどシミュレーションでやってみたらホチキスのはりをちがうところにやったりして血がでました手術はけっこうむずかしいと思いました。
見学をして、いちばんさい血がかんたんでした。はりをさすときは切り口を上にして30度にさすことがわかりました。
最新技術を使い、採血や手術などの練習できるのが良いな、と思った。医学部生の人たちがたくさん勉強して、夢に向けてがんばっている姿がすてきだった。
さいけつは今まで知らないことをたくさん学べて、特にさいけつのちゅうしゃをさすときがとてもドキドキしました。でも、一番むずかしかったのが、最後に行った、しゅじゅつ体験でした。物もつかみにくく、本当に人間の体の中を写したみたいな写真のときはとてもむずかしかったです。
実際に体験してみて手術の練習をしたり採血の練習をするのが難しかったです。
実際に学生の方々が使って練習しているものをつかって、もぎ体験をして、こういうふうに、練習するんだなとすごく勉強になりました。
さい血ではりを入れる角度がわかりました。さい血は意外とかんたんだったけどとても大切だと思いました。ひふをぬうのはけっこうかんたんでした。医学部学生の人たちが分からないところも教えてくれたのでよかったです。
採血をシミュレーションしたときに、手まどうことが何回かあったけど、無事に採血できた。他にも胃や肝臓の位置が分かった。
実際にダミーを使って体験してみて、頭を使うことが多くて少し大変でした。今までやったことのない、糸でぬったり、モニターを使って手術体験をしたり不安がたくさんあったけれど楽しんでできました。看護師への関心がさらに深まりました。

私は、全部が初めてできんちょうしました。特にさい血がむずかしくてドキドキしました。やり方がわからなかったとき、秋田大学の人がいねいに教えてくれたのでうれしかったです。
感じたことは、エコーで心臓を見ると、骨がかぶっているのでもみにくいなということがわかりました。
シミュレーションをやって医者や医学部の人は大変なんだとおもった。
私が感じた事は、皮をぬった時に、むずかしかったが面白かった。
今回のシミュレーションは全体的におぼえることが多かった。たくさんの事をおぼえる、大学生や医師はすごいと思った。採血がおもしろかった。
手じゅつをして、画面だけを見てやるのは、むずかしくて、失敗してしまいました。いしゃの人は、画面だけを見てやっているのですごいと思いました。
さいけつでは、ピンクの血が、うまくとれたので、うれしかったです。また、とっても、うまくいってとってもうれしいです。来年も来たいです。
ふくくう鏡手じゅつがむずかしかったです。大量出血でゲームオーバーになってしまいました。すごくむずかしかったです。
皮をぬったり、体の中を見たりするのが楽しかった。
腹くう鏡手じゅつは、2人で2つの機械を使って、たん石をおさえて、クリップで止める作業がむずかしかったです。本当の腹くう鏡手じゅつでは、これを1人でそうさするんだなと思いました。大変だなと思いました。
いろんなことを知った。例えば、かわ（ひふ）のぬい方を知ることができた。
体験して3F・2Fのどちらともとても楽しかった病院の人たちはとてもくろうしているんだなと感じた。

3. 「医学部生との交流」を通して感じたことや考えたことを書いてください。（※原文のとおり）

いろいろな話を聞いてよかったです。高校より、こっち（医学部）が面白いとかの話聞いてよかったです。
ちゅうしゃをさす時むきと角度がだいじだとかんじた。人とのコミュニケーションはい学でもかつようするとかんじた。
医学部学生のお姉さんやお兄さんがやさしく、わかりやすく教えてくれたので聞きやすかったです。
自分なりに工夫して勉強をしている。何でもできるぐらいの頭じゃなくてもがんばればどうにかこうにかいける。苦手なことは苦手ではないと考えていくといいと聞いてなるほどと思った。
お兄さんがたやお姉さんがたが、とてもやさしくおしえてくださって、やり方も分かるまでおしえてくださり、とても分かりやすいじゅぎょうでした。質問にいてねいにこたえてくれてよかったです。
学生さんからたくさんのお話を教えてもらえてよかったです。わかりやすかったしはなして楽しかったです。
知りたかったことがしれてよかったです。私は、理科が好きだけど、苦手なのでもっとがんばりたいです。
医学部学生の人たちが全部の質問に答えてくれたのでいろいろとわかりました。
いままで経験したことや夢などを聞いた。自分も、もう少し勉強する時間をふやしたい。
必要な資格や勉強を知ることができてすごくタメになりました。大学生が実際に送っている日々も知れてよかったです。辛そうなスケジュールだったけれど、みなさんはとても楽しそうな顔をしていて羨ましいと感じました。
医学部の人みんなやさしくていろいろなことを教えてくれたのでうれしかったです。いろいろなことが体験できてよかったです。
今まで知れなかったことがたくさん知れました。たとえば、エコーでは、かたい物がしろく写って、やわらかい物がくろく写ることがわかりました。

医学部の人のいろいろなことがきけた。
⑨ メロン。⑨ ピンク。⑨ うたがえる目を持ったこと。
いろいろな話を聞いて、今なにをやってればいいかわかった。これからはひまなとき読書する時間もとっていきたい。
お兄さんやお姉さんがやさしくおしえてくれたのでとっても分かりやすかった。
みんな、それぞれの目ひょうがあることがわかりました。とくに、くもんさん場合は、みんなと少しちがっていました。
いろいろ教えてくれたのでよく医師などのことが分かった。
九門さん 1人 埼玉 白 ゆうなさん 3人兄弟 メロン 横浜 真っピンク 1~4年生ぼくたちと同じようにじゅ業5~6年生実際に働いてじゅ業別の研究所に行ったり、病院に行ったりする。
医学生といっしょに、ダミーを使っていっしょに学ぶことができてよかったです。
きれいなのは、算数 思いこむ とくいけどすきではない 国語・理科→あだ名はゆうなさん 5年生以上になると病院で 4年生 すきな物メロン 三人 きょうだい ピンク（こいもの） あまい物好き（チョコレート）くもんさん 好きな色 白 くもんさん いろんなことを知ってびっくりした。 カエルホルマリンにつけてあるから血はでない。 しけんもある。
それぞれのもくひょうをもっていたことが分かってよかったです。小・中学生の時の思いなどを知れてとてもよかったです。

4. 今回の医学部訪問を通して学んだことを書いてください。（※原文のとおり）

面白い事、楽しい事、そして勉強のことを聞いたり、人間関係のつながりを、学ぶこともできました。
どうぐにはそれぞれどこまでいれるか、どのむきかをみきわめると学んだ。
さい血のやり方がわかりました。 人のしんぞうが動く回数は約80回で大人と子どもで動く回数がちがうことがわかりました。
実際のものにできるだけ近いじょうたいで練習している。 本読んで勉強していりゃあなんとかいける。医者または看護婦になるためにはやることがたくさんありそれをこなしていかなければならない。
色々なことがあって、みなさん医学に向けて入ったけど、でも、人のたいせつな命をあずかっていくというとても大切な心いきをもっていてすごいと思いました。 私もみなさんみたいな医学生を目ざしたいと思いました。
医学部訪問をすることでよりいっそう夢にむかってがんばろうという気持ちが強くなりました。
人の命を救うことが、ぎじゅつ面でも、むずかしいし、救うために必要なことが多くて、もっと頑張らなきゃなと思った。
勉強では工夫して勉強していることが分かった。エコーなどで体のみえない部分も見ることができてよかった。
いろいろなシミュレーションを体験して、楽しかった。いろんなことを学んだ。
医者になるまでの道のりはとても長く、ものすごく大変な日々を送っていることがわかりました。でも医学生の持つ夢はかっこよくてすてきな夢ばかりでした。私もこのような楽しい人生を送れる人になりたいです！

医学部の人達は人の役に立ちたいと言っていたので、私も同じで人の役にたてるたてるためにこれからがんばっていきたいと思いました。
かんごしになることに、少しまよいはあったけれど、今日の医学部訪問を通して、あらためてかんごしになりたいなと思いました。今日、学んだことをいかしたいです。
人の命を守るために、日々がんばっているとおもった。
テストが大変。(二人にインタビュー)
これからは勉強をして、人とのコミュニケーションを大切にしていきたい。すこしでもかんじゃさんをあんしんさせたいです。
さい血をする時は三角じょうぎの30度のことを思いながらやるとよいということ学びました。新しいきぐの名前も知ることができました。
少し行って見ようと思ったので、行って見たけど、しょう来につながったので、よかったです。かんごしさんがしょう来のゆめだったけど、お医者さんも、いいなあと思いました。
手じゅつがむずかしかった。さい血がおもしろかったです。
医者になるためには何年も勉強しなければいけない。
むずかしいけど手じゅつの体験をしたりしたのが楽しかったです。
テストが大変だということ。二人も夜おそくまで勉強している。入るのは大変だということを知ってやっぱりと思った。
しんぞうなどのしくみを学びました。それぞれのやり方をとても学びました。

5. これからの生活にいかしてみたいことを書いてください。(※原文のとおり)

さい血をする時に、どこが切れ目か、じゃないか、そして、どこに針を入れるのかを見たいです。
医学部学生の人たちは、小学生ぐらいのときにたくさん本を読んでいたの、たくさん本を読みたいです。
(勉強はもちろん、本、調べ物) 今のうちにできることをやっておき夢へ進んでいきたい。 自分なりの工夫をこらし苦難を乗り越えてゆきたい。 優しい心を持って生活したい。
これからは今回聞いたことをだれかがぐあいがわるくなったりしたら、ちょっとくらいはたいしょほうがわかるくらいまで分かるように医学生さんたちみたいに、がんばって勉強して、おしえてくれた知識を医学にかんけいのあるときいかしたいです。
学生さんから勉強時間を教えてもらったり特に大事な教科を教えてもらったりしたので勉強をがんばりたいです。
今日、教えてもらった、「医者」という職業をしっかりと新聞にして、いろんな人に知ってもらいたいです。
きれいな教科でもお気に入りのノートにしたりして好きだと思ひこんで勉強したいです。ほかの人よりも先に勉強したりして苦手な教科でも工夫して勉強したいです。
本をまんがすら読んでいないので、これからはひまなときに本を読むようにしたい。
「看護師」という夢に向かって今日学んだことをもとに、勉強のしかたなどを工夫していきたいなと思います。そして夢が叶えた時は、今回きいたことを思いだして、人を助けてあげられる人を目指したいです。
私も藤崎さんがいっていたきれいな教科を好きだと思ひやることを勉強や生活などで生かしたいです。
今日、学んだことをいかして、りっぱなかんごしになれるように努力したいです。

もし、自分が医者じゃなくても何かあったとき人を助けるようにしたい。

医学という物を頭に入れて、これからも勉強からにげずに医学のことを知りつくして行こうと思います。

今日はたくさんのことを学びました。たとえばシミュレーションで実際にやって、大学生のはなしを聞いてとてもためになりました。これからは、自分の夢にむかってたくさん努力をしていきたいです。

さいけつがとっても自分でうまくいったと思うのでまた今度やるきかいがあつたらやってみたいと思いました。

本をよむのは、オススメ！と言っていたので、本をよんで、見ることにします。また、せきにんかんも、つよくなくては、ないと思いました。

友達にやさしくせつしたいと思います。

ぼくは人の役にも立ちたいと思いつているのでこれからもこのことをいかしてみたいです。

自分でけがなどをした時に、落ちついて、行動できるようになりたいです。

体の中はどうなっているか考える。
病の人が心配になった。

病院に行ったときこの大切さをわすれないでけんさをうけたいと思います。

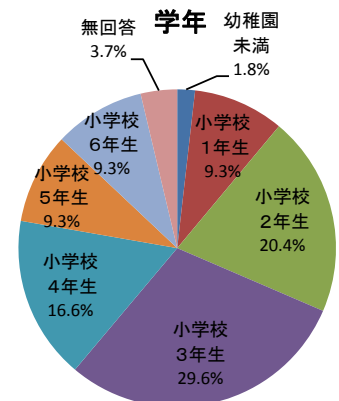
「わくわくドキドキ理科実験教室」 アンケート集計結果

配布数	回収数	回収率
61	54	89%

開催日時
平成29年7月30日(日) 10:00~12:00

1. 学年・性別

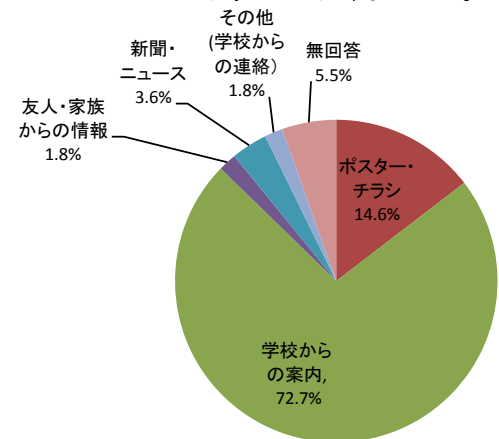
	幼稚園 未満	小学校						無回答	合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
男	1	3	5	2	2	3	4		20
女		2	4	9	6	2			23
無回答			2	5	1		1	2	11
合計	1名	5名	11名	16名	9名	5名	5名	2名	54名
構成比	1.8%	9.3%	20.4%	29.6%	16.6%	9.3%	9.3%	3.7%	100.0%



2. 「わくわくドキドキ理科実験教室」をどのようにして知りましたか。(複数回答)

	合計	構成比
男鹿市広報誌	0	0.0%
ポスター・チラシ	8	14.6%
学校からの案内	40	72.7%
友人・家族からの情報	1	1.8%
新聞・ニュース	2	3.6%
秋田大学ホームページ	0	0.0%
その他(学校からの連絡)	1	1.8%
無回答	3	5.5%
合計	55	100.0%

どのようにして知りましたか。



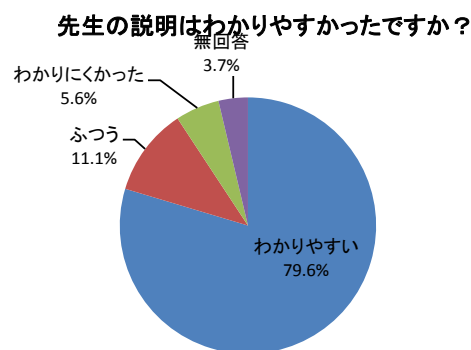
3. 一番わくわくドキドキした実験は何でしたか？(※原文のとおり)

わたしはしゃぼんだまのなかにはいったのしかった。
スライム作りまぜて作るのが楽しかった。
スライムと電池。
スライム。
ゴムボールがゆかに落ちたとき、ばく発したところ。
スライム。
スライム・スタンプ・しゃぼん玉
こなと水をまぜてねんどにした。
スライムを作る実験。
自分がしゃぼん玉に入ったこと。
スライム作り。
はんこをつくるとき、何かのえきたいでとかしていたこと。
スライムづくり。
スライムじっけん。
しゃぼん玉実験。
スライムの実験
花火のじっけん。
スタンプ。
スライムづくり。
シャボン玉の中に入ること。
火の色のかわる実験。
花火の実験
かおりのかがくです。
はっぼうスチロールのスタンプ

しゃぼん玉。
スタンプ。
でんちのじっけん。
たんそか中せいかアルカリせいか色を見てしらべる実験
しゃぼん玉。
すらいむ。
こうすい。
スライム、スタンプ。
すらいむ。
スライム、スタンプ。
ぜんぶたのしかった。
スライムを作った実験。
シャボン玉につつまれるじっけん。
スライム。
しゃぼんだまのなかにはいったことがときどきしました。
スライム。
スライム作り。
えきたいちっそ。
・二酸化炭素の実験・けいそう土の実験・火の実験・液体ちっ素の実験
液体ちっ素の実験
花火のいろ。
えきたいちっそ。
スライム。
花火の色のじっけん。
しゃぼん玉。
スライム。
すなのじっけん。みずをすこしかけたらかたまったり、水をかけなかったところは、かたまらないでそうゆうところがすごかった。
スライム作りがわくわくドキドキした。

4. 先生の説明はわかりやすかったですか？

わかりやすい	43名	79.6%
ふつう	6名	11.1%
わかりにくかった	3名	5.6%
無回答	2名	3.7%
合計	54名	100.0%



5. その他の感想を書いてください。（※原文のとおり）

低学年には難しく、すぐあきてしまったりしたけど、工作やシャボン玉など、体験したことあるもので、実験できたことが、とても興味しんしんでした。
スライムは、せんたくのえきたいでつくるのがわかったので、いえでもつくりたいです。
スライムが一番楽しかったのでうちでもやってみたいです。
家でも、スライムをつくってみたいです。
スライムをあげる実験をしてみたい。楽しかった。
楽しかったです。
スライムをはじめて作ったのでびっくりしました。
はなびの中にえきたいなど入っているかしりたいです。
モーターを作る。
きれいな水をどうやってつくるのかじっけんしてみたい。
スライムはかんたんにつくれるとおもいました。
1回でせいこうするのかなあと思いました。
じゅうりょくの実験

楽しかったです。
えきたいちっそにこおったものをいれるとどうなるか。
火薬で何かを実験したい。
すごくいえでもやりたいと思いました。
「クロマトグラフィーってなんだろう」をやってみたかったです。
このじっけん教室でいままでのなぞがとけました。
えきたいちっそに水をいれたらどうなるんですか？じっけんしてみたいです。
かぜだけででんきができることがわかりました。
すみ電池のじっけん。
ふりこのじっけんがすごくべん強になりました。
たのしかったです。
空気のできかた。
なんで、1回でせいこうするのかなあと、思いました。
ばくはつをしらべる。
食べ物でじっけんしてみたい。
ふうせん。
色々な物でじっけんしたい。
くうきのできかた。
さいごの、液体ちっ素の実験がとても楽しかったです。
ななび。
おもしろい。
スライムに液体窒素をまぜると
家でもつくってみようと思いました。
何回きてもおもしろいと思った。
クロマトグラフィーのじっけんがたのしかった。
花火の色がしゅるいによって、ちがうことがわかりました。
たのしかった。べんきょうになった。
スライムをやりたいかったです。
いえでもやってみたいと、思った。ハツポウスチロールで「ハンコ」をつくってみたい。

「脳」の健康度

得点の基準値

年代別の平均値

得点の平均値

	初回	6ヶ月後
記憶力 「ことば」をおぼえる能力 	11.3 点	10.7 点
注意力 目標に意識を向ける能力 	20.0 秒	33.0 秒
実行力 視点をうまく変える能力 	64.0 秒	60.0 秒
処理能力 課題を素早く達成する能力 	22.0 点	31.0 点

記憶力

「ことば」をおぼえる能力

10個の言葉(物の名前)を覚えるテストです。覚えた直後に3回繰り返し正解した数の平均と、時間をおいた後に正解した数の合計が得点となります。

65~69歳	11.9点
70~74歳	11.1点
75~79歳	10.1点
80~84歳	9.0点
85歳以上	7.6点

注意力

目標に意識を向ける能力

15個の数字をみながら、順番通りに数字を選ぶテストです。すべての数字を回答するまでに要した時間が得点となり、得点(所要時間)が少ないほど注意力が高いことを示します。

65~69歳	18.9秒
70~74歳	20.9秒
75~79歳	23.0秒
80~84歳	26.0秒
85歳以上	29.2秒

実行力

視点をうまく変える能力

数字と文字をみながら、数字→文字→数字のように交互に数字と文字を選ぶテストです。すべての数字と文字を回答するまで要した時間が得点となり、得点(所要時間)が少ないほど実行力が高いことを示します。

65~69歳	35.8秒
70~74歳	41.9秒
75~79歳	48.7秒
80~84歳	56.4秒
85歳以上	64.2秒

処理能力

課題を素早く達成する能力

9つの数字と記号の組み合わせをみながら、問題となる記号と合う数字を選ぶテストです。90秒間で正解した数が得点となります。

65~69歳	42.6点
70~74歳	38.6点
75~79歳	35.1点
80~84歳	31.2点
85歳以上	27.5点

「からだ」の健康度

		初回	6ヶ月後
筋力	手の力 (握力) 	19.3 kg	18.5 kg
	歩く速度 	1.6 メートル/秒	1.9 メートル/秒
タンデム立位		60 秒	60 秒
タイムド・アップ&ゴー		6.0 秒	5.8 秒
5回イス立ち上がり		7.7 秒	5.3 秒

得点の基準値

年代別と性別の平均値

筋力	手の力 (握力) この項目は、握力計を使って手の握る力を測定した結果で、からだ全身の筋力も反映するといわれています。測定値が高いほど握力が強いことを示します。	測定値の平均値	
		男性	女性
	65～69 歳	35.5 kg	22.5 kg
	70～74 歳	33.8 kg	21.5 kg
	75～79 歳	31.2 kg	20.3 kg
	80～84 歳	29.0 kg	18.4 kg
	85 歳以上	26.0 kg	16.4 kg

歩行	歩く速度 この項目は、普段の歩くスピードを測定した結果で、足腰全体の健康度を評価するのに適しているといわれます。測定値(速度)が高いほど歩くスピードが速いことを示します。	測定値の平均値	
		65～69 歳	1.32 m/秒
	70～74 歳	1.24 m/秒	
	75～79 歳	1.16 m/秒	
	80～84 歳	1.07 m/秒	
	85 歳以上	0.93 m/秒	

タンデム立位
20秒程度保持可能:
屋内歩行ができる

タイムド・アップ&ゴー
13.5秒以上: 転ぶ危険性あり

5回イス立ち上がり
14.5秒以上: 転ぶ危険性あり

氏名：〇〇様



＜結果報告書 作成者＞

氏名：久米 裕(くめ ゆう)

所属：秋田大学大学院医学系研究科
保健学専攻作業療法学講座

問い合わせ先：

電話：018-884-6556

メール：kume.yuu@hs.akita-u.ac.jp



「脳」の健康度



「からだ」の健康度

＜コメント＞

あなたは、同年代と比べて健康度がよく保たれている状態です。
今の状態を維持できるよう、よい生活習慣を続けてください。

約6ヶ月間のコグニサイズ講座おつかれさまでした。



秋田大学男鹿なまはげ分校

〒010-0595

秋田県男鹿市船川港船川字泉台66-1

男鹿市役所総務企画部企画政策課内

TEL 0185-24-9126 FAX 0185-23-2424

E-mail shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

編集・発行 秋田大学男鹿なまはげ分校
秋田大学地方創生センター

平成30年7月